

安全データシート

1. 化学品等及び会社情報

会社	昭和化工株式会社
住所	大阪府吹田市芳野町 18 番 23 号
担当部門	品質保証課
連絡先	TEL: 06-6384-1504
緊急連絡電話番号	FAX: 06-6384-2287
	06-6384-1501

SDS 整理番号:	G2013	改訂-3 2022 年 5 月 13 日
-----------	-------	----------------------

製品名(化学名、商品名等)	SK-10RN
---------------	---------

2. 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性: データなし

環境影響: データなし

物理的および化学的危険性: 本品は消防法の自己反応性物質に該当しないが、ジアゾニウム塩が含まれており、取扱には充分注意すること。

特定の危険有害性: データなし

分類の名称(分類の基準は日本方式): 分類基準に該当せず。

GHS 分類

物理化学的危険性

全項目とも「区分に該当しない」、「分類できない」である。

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 5

急性毒性(経皮): 区分 5

眼に対する重篤な損傷、眼刺激性: 区分 2A-2B

生殖毒性: 区分 2

特定標的臓器・全身毒性(単回曝露) 区分 1 (中枢神経系、腎臓、全身毒性)
区分 3 (気道刺激性)

特定標的臓器・全身毒性(反復曝露) 区分 2 (血管、肝臓、脾臓)

吸引性呼吸器有害性: 区分 2

環境に対する有害性

全項目とも「区分に該当しない」、「分類できない」である。

シンボル



注意喚起語：	危険
危険有害性情報：	飲み込むと有害のおそれ (H303) 飲み込んで気道に侵入すると有害のおそれ (H305) 皮膚に接触すると有害のおそれ (H313) 強い眼刺激 (H319) 呼吸器への刺激のおそれ (H335) 眠気やめまいのおそれ (H336) 生殖機能または胎児への悪影響のおそれの疑い (H361) 臓器の障害 (中枢神経系、腎臓、全身毒性) (H370) 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ (血管、肝臓、脾臓) (H373)
注意書き	
安全対策：	使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。(P202) 容器を密閉しておくこと。(P233) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260) 取扱後は、手、顔等よく洗うこと。(P264) この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。(P270) 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280) 指定された個人用保護具を使用すること。(P281)
応急措置：	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。(P301+P310) 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。 (P303+P361+P353) 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。(P308+P313) 気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。(P312) 無理に吐かせないこと。(P331) 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。 (P337+P313)

	火災の場合：消火に消火剤（水、粉末、炭酸ガス、泡）を使用すること。（P370+P378）
保管：	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。（P403+P233） 施錠して保管すること。（P405）
廃棄：	地方自治体によって認可された廃棄物処理会社を通して内容物、容器を処分すること。（P501）

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：	化学物質
化学名又は一般名：	（4-フェニルアミノベンゼンジアゾニウム硫酸塩+ホルムアルデヒド）縮合物
化学特性（化学式又は構造式）：	$(C_{12}H_{10}N_3 \cdot CH_2O \cdot HSO_4)_n$
CAS No.	41432-19-3
官報公示整理番号：	化審法：7-888 安衛法：既存化学物質
PRTR 法：	非該当
労働安全衛生法表示対象物質：	第 18 条 No. 2 の 3（プロピルアルコール）
危険有害成分：	プロピルアルコール

4. 応急措置

吸入した場合：	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直ちに新鮮な空気のある場所に移動させ、鼻腔を水で洗い、うがいをする。 ・ 体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、必要に応じて医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合：	<ul style="list-style-type: none"> ・ 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。 ・ 製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。石鹸を使ってよく落とす。 ・ 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医療処置を受ける。
目に入った場合：	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄後、直ちに眼科医の手当てを受ける。 ・ 洗眼の際、まぶたを指でよく開いて眼球、まぶたの隅々まで水がいきわたるように洗浄する。
飲み込んだ場合：	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直ちに水でよく口の中を洗浄し、コップ 1～2 杯の水または牛乳を飲ませ、医師の手当てを受ける。 ・ 被災者に意識のない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤：	水、粉末、炭酸ガス、泡
使ってはならない消火剤：	データなし

火災時の特有の危険有害性:	<p>燃焼すると一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物等のガスを発生する恐れがある。</p>
特有の消火方法:	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者以外の立ち入りを禁止し、適切な保護具を着用して風上から作業する。 ・ 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。 ・ 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な処置を行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漏出場所の周辺にロープを張り、関係者以外の立ち入りを禁止する。 ・ 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。 ・ 作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉じん、ガスを吸入しないようにする。
環境に対する注意事項:	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本品や廃液が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材:	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火気、高温体の接近及び過熱、衝撃、摩擦を避ける。 ・ 真空中で吸い取る等、粉塵が飛散しない方法で取り除き、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策:	<ul style="list-style-type: none"> ・ 換気の良い場所で取り扱う。 ・ 保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を着用する。 ・ 火気、高温体の接近及び過熱、衝撃、摩擦を避ける。 ・ 機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を行なう。 ・ 使用の際は保冷库から取出した後、常温に戻してから開封して使用する。 ・ 取扱後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。 ・ 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を与え、または引きずる等の乱暴な取り扱いをしてはならない。 ・ 使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。 ・ その他、該当法規に従うこと。
	注意事項:	<ul style="list-style-type: none"> ・ みだりにエアロゾル、粉じんが発生しないように取り扱う。 ・ 開封後は密閉し、速やかに使用すること。
	安全取扱注意事項:	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルカリ性物質、強酸化剤との接触を避ける。

保管	適切な保管条件：	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火気、熱源より遠ざける。 ・ 容器を密封し、多段積み Avoid して冷暗所（10℃以下）に保管する。 ・ その他、該当法規に従うこと。
	安全な容器包装材料：	<ul style="list-style-type: none"> ・ 光により分解するため、遮光した密封容器に保管し、直射日光を避けること。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

- ・ できるだけ設備を密閉化し、局所排気装置の設置又は全体換気を適切に行うこと。
- ・ 取り扱い場所の近くに緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。

許容濃度	日本産業衛生学会：	設定されていない。
	ACGIH：	設定されていない。
保護具	呼吸器の保護具：	防塵マスク
	手の保護具：	保護手袋（不浸透性）
	目の保護具：	保護眼鏡（側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）
	皮膚及び身体の保護具：	保護服、保護長靴、保護前掛け

9. 物理的および化学的性質

物理状態：	粉末若しくは粒状
色：	黄緑色～緑色
臭い：	特になし
融点／凝固点：	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲：	データなし
可燃性：	データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界：	データなし
引火点：	データなし
自然発火点：	データなし
分解温度：	約 145 °C (DSC)
pH：	データなし
動粘性率：	データなし
溶解度：	水： 30 g/100 ml その他：データなし
n-オクタノール/水分配係数（log 値）：	データなし
蒸気圧：	データなし
密度及び／又は相対密度：	嵩比重 約 0.8
相対ガス密度：	データなし
粒子特性：	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	データなし
化学的安定性:	徐々に窒素ガスを放出し、分解する。
危険有害反応可能性:	データなし
避けるべき条件:	データなし
混触危険物質:	データなし
危険有害な分解生成物:	燃焼すると一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物等のガスを発生する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性:	データなし
皮膚腐食性／刺激性:	データなし
眼に対する重篤な損傷性／	データなし
眼刺激性:	
呼吸器感作性又は皮膚感作性:	データなし
生殖細胞変異原性:	データなし
発がん性:	データなし
生殖毒性:	データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露:	データなし
特定標的臓器毒性、反復ばく露:	データなし
誤えん有害性:	データなし

12. 環境影響情報

生体毒性:	データなし
残留性・分解性:	データなし
生体蓄積性:	データなし
土壤中の移動性:	データなし
オゾン層への有害性:	データなし

13. 廃棄上の注意

- ・内容を明確にしたうえで産業廃棄物処理業者に委託する。
 - ・苛性ソーダのアルカリ水溶液でジアゾを分解後、可燃性溶媒に溶解又は混合し、再燃焼装置、スクラバーのついた焼却炉で燃焼させる。
- ※該当法規もしくは都道府県及び市町村の条例による廃棄の規制がある場合は、それに従った廃棄処理を行うこと。
-

14. 輸送上の注意

国連番号:	該当なし
品名（国連輸送名）:	該当なし
国連分類:	該当なし
容器等級:	該当なし
国内規制がある場合の規制	該当なし
情報:	

注意事項：

- ・ 本製品は国連分類の自己反応性物質及び可燃性物質には該当しない。
- ・ 輸送前に、容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。
- ・ 特に高温多湿または直射日光に曝される場所に長時間放置しないこと。

15. 適用法令

消防法 指定可燃物 （危険物ではありません）

労働安全衛生法 危険物・引火性の物（施行令別表第1第4号）

労働安全衛生法 名称等を通知すべき有害物（プロピルアルコール）

（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9）

労働安全衛生法 第2種有機溶剤等（プロピルアルコール）

（施行令別表第6の2・有機溶剤中毒予防規則第1条第1項第4号）

16. その他の情報

引用文献

化審法化学物質 改訂第2版 構造別分類番号 CAS 番号付与（化学工業日報社）

社内資料

（U. S. DEPARTMENT OF HEALTH AND HUMAN SERVICES）

THE SIGMA-ALDRICH LIBRARY OF CHEMICAL SAFETY DATA EDITION II

（SIGMA-ALDRICH CORPORATION）

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合情報提供システム（CHRIP）

社内資料

注意事項

- ・ 現時点で入手できた情報に基づき作成しておりますが、危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分ご注意下さい。
- ・ 記載内容は参考情報であり、いかなる保証をなすものではありません。
- ・ 注意事項等は通常の手扱いを対象としており、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- ・ 新しい知見により、本データシートは改訂されることがあります。